

学校教育目標
いきいき なかよく
りそうに向かって
考動する子

学校だより

京都市立稲荷小学校
校長 吉山 茂樹
令和4年2月

令和3年度 第2回学校評価報告

お忙しい中、ご協力いただき誠にありがとうございました。
学校教育目標に照らし合わせ、アンケートの内容を「生活に関すること」「学習に関すること」の二つの視点で調査をしました。また、今回も「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場での自己評価という形でアンケートを行いました。
その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で「低学年」「中学年」「高学年」と分けて分析・考察をしましたので報告いたします。

アンケート結果集計

子どもたちの生活を よりよいものに 自らを振り返り、 互いに高め合う				1そう思う			2だいたいそう思う			3あまりそう思わない			4そう思わない		
				児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員
生活面	1	自分から進んで挨拶ができています。	低	48%	67%	67%	49%	29%	33%	3%	3%	0%	0%	0%	0%
			中	59%			31%			8%			2%		
			高	31%			51%			18%			0%		
	2	先生に相談する。	低	32%	62%	56%	44%	35%	44%	20%	3%	0%	5%	0%	0%
			中	28%			22%			28%			22%		
			高	23%			45%			26%			5%		
	3	自分のよいところと言える。	低	43%	57%	59%	44%	42%	30%	10%	0%	11%	2%	1%	0%
			中	33%			32%			22%			14%		
			高	31%			40%			24%			5%		
	4	友達を大切にし、仲良くしている。	低	67%	72%	44%	33%	28%	56%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
			中	86%			14%			0%			0%		
			高	77%			21%			2%			0%		
	5	忘れ物なく学習の準備ができています。	低	37%	44%	56%	57%	52%	44%	4%	3%	0%	2%	0%	0%
			中	22%			54%			14%			10%		
			高	33%			41%			15%			11%		
	6	係や掃除・給食当番の仕事を最後までできています。	低	79%	24%	50%	19%	39%	50%	2%	34%	0%	0%	4%	0%
			中	82%			16%			2%			0%		
			高	68%			27%			3%			2%		
	7	後片付けをすることができる。	低	75%	39%	33%	21%	54%	67%	4%	6%	0%	0%	1%	0%
			中	49%			41%			10%			0%		
			高	62%			26%			9%			3%		

学 習 面	8	授業がよくわかる。	低	73%	44%	33%	22%	47%	67%	5%	10%	0%	0%	0%	0%
			中	62%			34%			4%					
			高	68%			20%			11%					
	9	授業中、話を最後までしっかり聞く。	低	54%	58%	33%	41%	37%	67%	5%	5%	0%	0%	0%	0%
			中	62%			36%			2%					
			高	55%			35%			8%					
	10	授業中、自分から進んで発表している。	低	60%	28%	44%	32%	48%	56%	6%	17%	0%	2%	7%	0%
			中	46%			29%			16%					
			高	34%			39%			17%					
	11	家庭学習や宿題を進んでしている。	低	46%	54%	25%	49%	38%	62%	4%	7%	14%	0%	6%	1%
			中	52%			28%			14%					
			高	51%			28%			14%					
	12	本をよく読んでいる。	低	67%	41%	0%	28%	38%	86%	5%	18%	14%	0%	6%	3%
			中	42%			26%			26%					
			高	32%			34%			21%					
	13	稲荷地域のことが好きである。	低	66%	17%	22%	24%	42%	66%	10%	32%	12%	0%	2%	9%
			中	88%			10%			0%					
			高	68%			22%			5%					

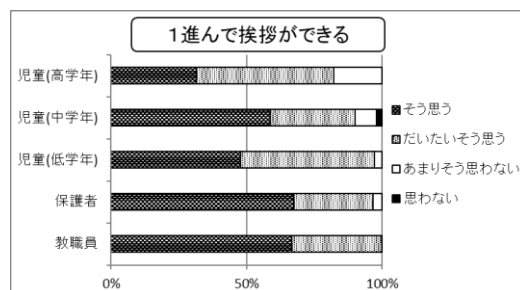
生活面について

1 自分から進んで挨拶ができている

(保護者) 進んで挨拶できるように、家でも挨拶をしている。

(教職員) 進んで挨拶できるように、教職員自ら挨拶している。

三者比較グラフ



保護者の回答から96%のご家庭で家でも挨拶をしていることが分かりました。全体でみると90%とあいさつできる児童が多いことが分かり、前回と同様の結果となりました。しかし、「思わない」と回答した児童が減ったことは、あいさつ運動がよい影響を与えていると考えられます。コロナ禍で元気に挨拶をすることが難しくなっていますが、大きな声ではなくてもしっかりと挨拶をする習慣は身に付けてほしいと思います。

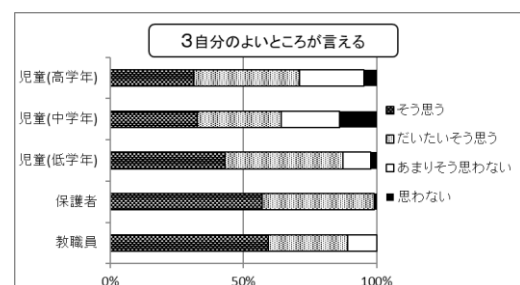
現在、中止しているあいさつ運動も再開して続けていきたいと思っています。

3 自分のよいところと言える

(保護者) 子どものよさを認め、褒めるようにしている。

(教職員) 良さを積極的に見つけ、認め、褒めている。

3自分のよいところと言える



保護者や教職員は「児童の良さを見つけ、褒めている」と回答していることは前回と同様の結果となりました。児童には、「自分の良いところ」という観点で調査し、74%よいところと言える前回を上回る結果となりました。「そう思わない」と回答している児童も減少していることが分かりました。学校生活も半分を過ぎ、学級にも慣れ、自分を見つめることができるようになってきたのではないかと思います。自分の良さを見つけることは自尊感情を高める為に大切なことです。自分を大切に、仲間も大切にできる児童になってほしいと思います。

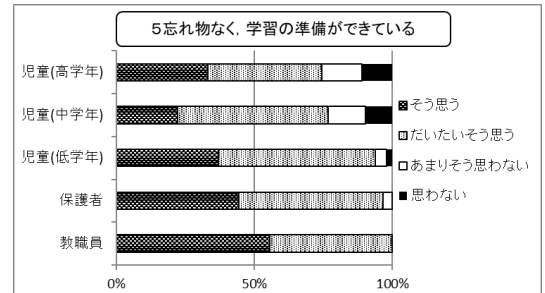
5 忘れ物なく学習の準備ができている

(保護者) わが子が忘れ物なく学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。

(教職員) 児童に忘れ物なく学習準備する習慣が定着するよう働きかけている。

三者比較グラフ

約80%の児童は、忘れ物がないようです。保護者と教職員もそのようにとらえていて前回と同様の結果となりました。学年別にみると、高学年になるほど忘れ物が増えていく傾向にあります。教科が増え準備物も比例して増えていくことが理由の一つと考えられます。家庭に持って帰らず、教室においてあるものも多くなっています。自分の持ち物を把握し、一人一人が忘れ物をしない方法を考え、しっかり身に付けてほしいと思います。



学習面について

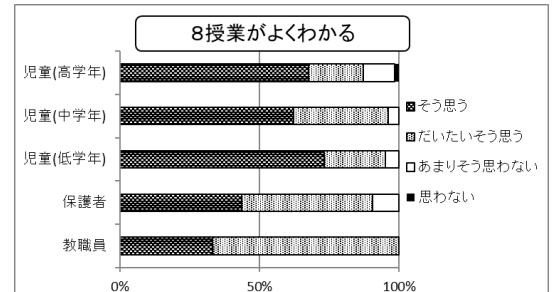
8 授業がよくわかる

(保護者) 授業が分かりやすいと言っている。

(教職員) 授業がよく分かるよう、学習課題・まとめ・振り返りを行っている。

学年別に見ると、学年が上がるにつれて「そう思わない」と回答する児童が多くなっています。学習内容が徐々に難しくなってきたことが理由であると考えられます。

全体の結果としては、児童・保護者共に91%と良好な結果となりました。今後もGIGA端末も有効に活用しながら、児童が「授業がよくわかる」と回答できるように、1時間1時間の展開を工夫してよくわかる授業を作り上げていきたいと思っています。

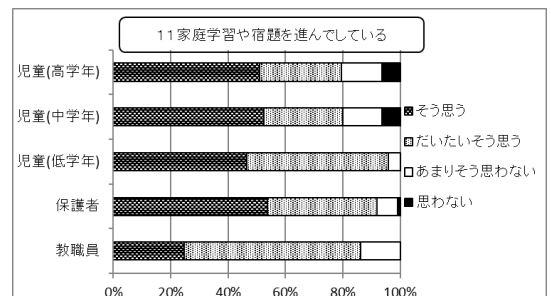


11 家庭学習や宿題を進んでしている

(保護者) 家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。

(教職員) 家庭学習の習慣が定着するよう働きかけている。

前回と同様、三者共に良好な結果となりました。家庭での学習が身に付いてきていることが分かります。「そう思わない」と回答している児童が低学年で減ったことが分かりました。学力を定着させ、高めていくためには、学校での学習だけではなく、家庭での学習時間を確保し、家庭学習の習慣を身に付けることが、重要になってきます。学年が上がるにつれ時間の確保が大変かもしれませんが、下校後の時間の使い方にも工夫をしていただきたいと思います。

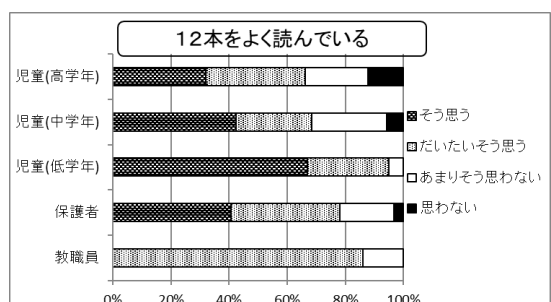


12 本をよく読んでいる

(保護者) わが子に本をよく読むようすすめている。

(教職員) 児童に読書の習慣が定着するよう働きかけている。

76%の児童が本をよく読んでいると回答しました。前回調査よりも少し数値が下がりました。学年別に見ると、高学年で「そう思わない」と回答している児童が増えています。生活の中で、読書に時間を割くことが難しくなってきたのかもしれません。学校では朝読書の時間を設け、十分な読書時間をこれからも確保していきたいと思っています。各ご家庭でも読書の時間を持てるようにしていただきたいと思います。



<学校より>

今回も、児童全体で結果を見るだけでなく、学年部ごとに分けて集計し分析してみました。すべての調査で同じような特徴が見られたわけではないですが、各学年部の結果に傾向が見られました。そのことを参考にして、これからの教育活動を見直し、進めていきたいと思います。保護者の皆様、お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

<学校生活全般>の保護者のご意見

- ・ 入学してから毎日生き生きして楽しそうです。宿題嫌だ、学校休みたいと気分が乗らない日もありますが、その時の感情を抑えることができ、自分が今やるべきことは何かと見通しをもって行動できるようになってきたと感じます。日頃より教職員の皆様の温かいご指導のお陰です。心より感謝いたします。
- ・ あまり地域の人や稲荷大社のことも詳しくないので、家ではふれあう機会が少ないです。学校行事や授業での活動を通して知ることができたらいいなと思います。
- ・ 学校生活にも大分慣れてきたようで、話をよく聞かせてくれます。ほどよい緊張感もあるようで、まだドキドキしながら学校へ行く様子からしっかりと授業に参加しているのだろうと感じています。日々の成長に感謝しています。
- ・ 本を読んだり、発表したり特に働きかけはしていませんが、保育園での経験からできているように思います。毎日、学童で帰りも遅いので、早く寝かせることを優先して、大人がしてしまっていることも多いと感じています。
- ・ コロナの中、色々なことに心を配り大変ありがとうございます。少しずつ行事が増えていき、子ども達が以前のように笑顔あふれる毎日を過ごせますように。
- ・ いつも温かいご配慮いただき感謝申し上げます。
- ・ ついつい日常において時間に追われて丁寧に相手をしてやれていないと思います。手伝いや読書等、大切なことだとは感じながらそのまま過ぎていっています。
- ・ 日頃、地域のことについて話をする機会がもてていません。姉が社会の授業で地元の話をして良いところを教えてくれたりします。学校で身近に感じる楽しくておもしろい授業をしてくださりがたいです。
- ・ 宿題をする時間のスイッチがなかなか入りません。学校はとにかく楽しいようです。そこが一番うれしく安心します。先生方にも感謝しております。ありがとうございます。
- ・ 地域の方には、いつも温かく子ども達を見守ってくださったり、お声かけいただいたりと大変感謝しております。
- ・ 楽しく登校させていただいているのがありがたいです。感染対策に気を配っていただきながら、体育科学習発表会をありがとうございました。
- ・ 忘れ物がないように働きかけているが、忘れている。
- ・ いつもありがとうございます。子どもも私も稲荷小学校が大好きです。
- ・ いつも温かく見守ってくださり、ありがとうございます。
- ・ いつも大変お世話になりありがとうございます。行事も再開し慌ただしい中にも日常の有難さを感じています。学校から帰って友達と遊ぶか習い事で宿題をして用意、夕食後、テレビか読書、就寝準備となかなか授業について聞いたり発表を促がしたりする等の働きかけをすることが、宿題が分からないことがあった時しかなかったと反省しています。以前は習った事を子どもに先生になって教えてもらっていたので、又やってみようと思いました。
- ・ 何とかこの危機を乗り越えられたらと思います。親の気が付かない（良い点も悪い点も）ところをいろいろ教えていただけると嬉しいです。よろしく願いいたします。

- ・ とても良い学校、先生に恵まれてありがたいです。
- ・ いつもありがとうございます。授業は難しいと言っている時もありますが、丁寧に指導していただいているので、ありがたいことに前向きに取り組んでいます。良いところをほめて認めて伸ばして、苦手なところはフォローしてくださり感謝しています。
- ・ コロナ禍で大変な中いつも丁寧にご指導いただき感謝しています。温かく見守っていただけるので安心して過ごさせてもらっています。
- ・ いつもお世話になりありがとうございます。担任の先生をはじめ、スクールカウンセラーの先生、諸先生方に温かく見守っていただいたり、適切な対応、アドバイスをいただいたり、稲荷小の優しい友達に囲まれ成長過程の大切な時間をいい形で過ごせていると思います。心より感謝しておりますと共に今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・ 担任の先生はもちろん、色々な先生の話の家でもしています。全体で見えていただいているのがよく分かります。いつも本当にありがとうございます。
- ・ コロナ禍の中たくさんの心配りしながら大変な中いつもありがとうございます。少しずつ戻りつつあり、晴れ晴れした笑顔が見れることがうれしいです。
- ・ 漢字を書く時に「行動する」を「考動する」と間違えないように働きかけたいです。言葉の意味を考えて少し迷いそうになる時があるようです。間違えないように「稲荷の考動」といって区別しているそうです。面白いなと思いました。
- ・ 大変な中、感染対策に気を配っていただいておりますありがとうございます。体育学習発表会、修学旅行と実施していただけた一生の思い出になります。ありがとうございます。
- ・ いつも温かく子ども達を見守り、ご指導くださりありがとうございます。
- ・ いろいろ声かけをしていますが素直に受け入れられない時期に入ったようです。自分でまわりの意見や考えを見て聞いて学んでほしいと思います。失敗もしてほしいなと思います。

<いじめに関する保護者のご意見>

- ・ もし、いじめがあった場合は、こういった対応をしていかれるのか知りたいです。悲しい事件も多いので気になりました。

学校では、関係の教職員でいじめ対策委員会を開き、児童への聞き取りを丁寧に行い、事実を確認し解決に向けて指導していきます。お子様の様子で気になることがあれば遠慮なくご相談ください。

<体力作りに関する保護者のご意見>

- ・ コロナ禍により疎水見学やみさきの家、花背山の家などほとんどの行事を体験できておらず残念に思います。コロナ禍の状況が回復すれば何らかの形で体験学習の機会が増えればと願っています。又、近年コロナ禍の前より稲荷小では多くの行事がなくなりました。（遠足、学習発表会、持久走大会など）外遊びが減り、座学が多くなり、視力が悪くなっているのも気になります。体力も落ちているように感じます。朝ランや中間・昼休みの外遊びの奨励や行事などの教室外での体験の機会を増やせるようにご検討いただければ嬉しいです。最後にいつも多くの先生方にきめ細やかにご指導いただき感謝しております。

学校では、今年度の学校経営方針のもと、体力向上を大きな柱の一つにあげ、児童が外遊びで使用する遊具を準備し、体を動かす機会を増やすようにしました。朝ランについては、まずは週1回、低・中・高学年に分かれて実施する予定でしたが、今年度も感染防止対策の為、実施することができませんでした。各ご家庭でも体を動かす機会を作っていただけるとありがたいです。

最後に

今年度も様々な制限のある中、感染拡大防止に努めてまいりました。秋頃には、感染者数も少なくなり、体育科学習発表を無事実施することができました。延期になっていた6年生の修学旅行も計画通りに実施することができました。更に、昨年度は中止になっていた縦割り活動の「いなり山めぐり」も実施することができました。これも地域の皆様・保護者の皆様のご理解・ご協力があったることだと感謝申し上げます。アンケートのご意見からも学校への期待と感謝の思いを十分に感じるすることができました。

現在は、再び感染が拡大し制限のある中での教育活動が続いています。皆様のご協力の甲斐あって、稲荷小学校では、感染の拡大を最小限にとどめることができています。ありがとうございます。

まだまだ、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組は続きますが、子ども達にとって満足のいく学校生活を送れるように、学習や行事に取り組んでいきたいと思います。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

※ 子どもさんとの関わりの中でお困りのことがありましたら、スクールカウンセラーが毎週金曜日に勤務しております。小さなことでも大丈夫ですのでお気軽にご相談ください。